

ほけんだより

梅雨の時期に入り、涼しい日もあれば、蒸し暑い日も多く続いています。この時期は、まだ体が暑さに慣れていないため、熱中症をおこしやすくなります。保育所でもこまめに水分補給など声をかけていきたいと思いますが、ご家庭でも、暑さ対策や水分補給を心がけ熱中症に気を付けましょう。

【夏の感染症に注意しましょう】

夏に多くみられる感染症予防の基本は、冬の感染症と同様、手洗い・うがいです。外遊びの後や食事前などに行いましょう。

～咽頭結膜熱(プール熱)～

急な高熱とのどの痛み、目やにや充血が見られ、全身状態の改善までに1週間ほどかかります。感染力が強い為、発熱、目の充血などの症状がなくなってから、2日を経過し、医師から感染の恐れがないと認められるまで登所できません。

★ 登所許可書が必要



～流行性角結膜炎(はやり目)～

1～2週間の潜伏期間があり、結膜の充血や目やに、かゆみ、まぶたの腫れなどが見られます。白目や結膜の充血が著しいのが特徴です。感染力が強い為、家庭内でのタオルの共有を避け、手洗いをきちんと行いましょう。

医師から感染の恐れがないと認められるまで登所できません。

★ 登所許可書が必要



～ヘルパンギーナ～

突然の高熱やのどの痛み、乳幼児ではよだれが増える、食欲低下、不機嫌などの症状が見られます。口内に小さな水泡ができます。熱が下がり、飲食が普段通りでき全身状態が良ければ登所可能です。

★ 登所届が必要



～手足口病～

口内、手や足、足の裏、ひざやひじの周り、お尻などに赤い米粒のような発疹が出ます。口内が痛み、水分や食事がとりにくくなります。飲食がしにくい場合には、のど越しが良いものを与えてあげましょう。全身状態が良ければ登所は可能です。

★ 登所届が必要



こまめな水分補給で熱中症予防を!

熱中症予防にはのどが渇く前に少しずつ水分を補給することが大切です。のどが渇いたころには体はすでに水分不足になっています。子ども達は遊びに夢中になると水分補給を忘れがちです。保育所でももちろんですが、お家でもこまめな水分補給をしましょう。

身体が暑さに慣れるのには時間がかかりますので、暑くなり始めた時期や、急に暑くなった日などは特に注意しましょう。

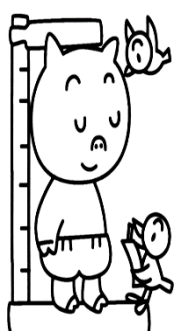


～とびひ(伝染性膿痂疹)～

アトピーやあせも、虫刺されやすり傷などを手で触ったり、掻いてしまったりすると皮膚の表面に複数の細菌が付着して繁殖し、皮膚がただれたり水ぶくれになったりします。とびひになった部分を触った手で他の場所に触れると感染が拡大します。

ジュクジュクした部分はガーゼで覆い患部に直接触れないように注意が必要です。

★ 爪で傷がつかないように爪の長さの確認をお願いします。



7月の身体測定

ひよこ組：11日 りす組：8日
あひる組：5日 うさぎ組：9日
ぞう組：3日 きりん組：2日

★ 乳児健診 11日 10:00～

眼科検診・歯科検診への出席、ご協力ありがとうございました。みんな上手に検診を受けることができました! 後日歯科検診結果を配布いたします。虫歯のあるお子さんは必ず歯科受診を行い、保育所へ治療確認証の提出をお願いいたします。
体調を崩しお休みするお子さんが増えています。これからの時期、夏かぜが多くなると予想されますので手洗い・うがいをしっかりと行い、感染症を予防していきましょう。